

# 市民の声を市政に反映!

## 市政に対する政策提言を提出!

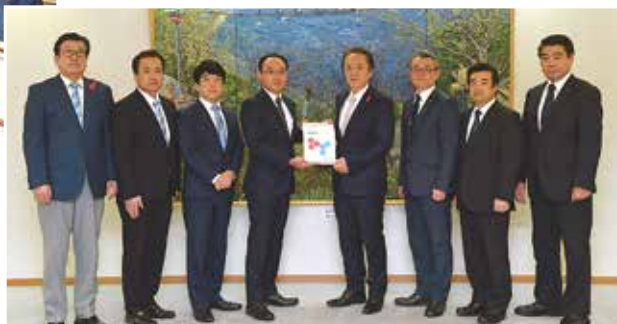
10月11日公明党横須賀市議団として「市政に対する政策提言2020」を上地市長へ368項目(新規55)にわたり提言致しました。

これは日々の市民相談、夏に行った22団体の政策懇談会など様々ご意見ご要望を基に作成したものです。今後、政策の実現に向けて全力で取り組んで参ります!



【重点項目】.....

- 1 「経済・産業の再興」中小企業支援など
- 2 「地域で支え合う福祉のまちの再興」生涯現役社会アクションプランの策定など
- 3 「子育て・教育環境の再興」子ども・子育てコンシェルジュの配置など
- 4 「歴史や文化を生かしたにぎわいの再興」JR横須賀駅前の再整備など
- 5 「安心安全のまちづくり」タイムリーな災害情報の発信など



横須賀市議団  
ホームページは  
こちらから

## 横須賀市議会にギャラリーがオープン!



板橋まもる 議長

横須賀市議会のフロア(市役所本庁舎9階)に、全国で数々の賞に輝いた市立横須賀総合高等学校美術部の歴代生徒の絵画作品32点を展示することになりました。

市議会の廊下を絵画の森を抜ける“小径”に見立て、横須賀総合高等学校で総合的な時間を“羅針”と呼んでいることにちなんで、「羅針の小径」と名付けました。

今回の市議会ギャラリーの開設は議会

改革の一環として実現したものです。皆さんも市議会にお気軽にお越し頂き、エネルギー溢れる力作の数々に囲まれた“羅針の小径”を歩いてみてはいかがでしょうか?お越しの際は、9階の議会事務局受付にお声がけください。



石山 みつる 議員

### 訪問型産後ケアの導入を!

Q 訪問型産後ケアの現在の検討状況について伺いたい。

A 本事業の導入について大変有意義な御提案を頂いた。現在本事業の実施に向け、医師会や産後ケア事業者との調整を行っているところである。

### 児童虐待撲滅を!

Q 女性のためのDV相談は、児童虐待のSOSをキャッチする大事な窓口でもあるという認識で、児童虐待のリスクアセスメントを徹底していただきたい。

A DVと聞くと胃が痛む、かきむしられるように、私の中でもありますから、それはぜひこれから徹底をしていきたい。



土田 ひろのぶ 議員

### 避難所である小中学校体育館にエアコンの設置を!

Q 大規模修繕または建替え時にエアコンのある小中学校体育館を建設する必要があるのでは。

A 市長：エアコンの設置を検討させたい。教育長：長寿命化計画の中で、ICT化を含め取り組む。

### 生活習慣予防に病診連携システムを!

Q 腎症のかかりつけ医にかかっている早期の段階で専門医につなぐ「病診連携システム」の構築を進めるべきでは。

A 令和2年度から「CKD病診連携システム」を開始すべく準備を進めている。

その他、「マイタイムラインの活用」「ロタウイルスワクチン定期接種化に市独自の助成」、「BCG予防接種を個別方式」について前向きに検討する答弁を引き出しました。



本石 あつし 議員

### 成年後見センターを設立し権利擁護の推進を!

Q 「成年後見センター」を設立し、全ての人が地域で安心して暮らせるよう権利擁護の推進を図るべきではないか。

A 設置については、庁内関係各課及び情報交換会において検討を進めている。

### 認知症の人を支援するボランティア活動の活動促進を!

Q 本年度より認知症の人を支援するボランティア活動を行う「認知症オレンジパートナー」の活動促進を図るべきではないか。

A 活動状況については、交流会において情報共有する。活動促進のために、ホームページで活動募集情報を提供していく。

### 議会文書のペーパーレス化と経費節減を!

Q 本会議場などの理事者席へ、電子化された資料をダウンロードできるタブレットパソコンを配備し、ペーパーレス化と経費削減を図るべきでは。

A 提案をふまえ、省力化の有効な手段として導入を検討したい。

\*市の個人情報漏えい事故多発の中、万全を期した情報セキュリティ対策を講じることを主張。



関沢 としゆき 議員

### 「誰も一人にさせないまち」実現に向けて

Q 近隣で助け合う「近助の精神」が、災害時の強力なツールになると言う考え方について

A 自然の猛威の前で私たち一人ひとり非力だが、力を合わせれば、乗り越えられる。「近助」は、今後の社会になくはない。誰も一人にさせないまちの実現にどう活かしていくのかを考えるのが私の使命だ。

### 粗大ごみ収集申し込みのネット化について

Q 粗大ごみのインターネット受け付けの導入について。

A 令和2年6月の実施に向け準備を進めている。



二見 英一 議員

### 横須賀初! 消防用ドローンの導入へ

Q 消防用ドローンの機動力は災害現場や救助活動時において迅速に広範囲な情報を収集でき、現場の的確な把握に最適とされている。新たな消防体制の基盤強化として、消防用ドローンの導入をすべきと思うが、いかがか。

A ドローンの消防活動への有効性を踏まえ、導入に向けた研究を実施していきたい。

### 障害者手帳のカード化について

Q 平成31年4月の障害者手帳の様式などを定めた厚生労働省の省令改正を踏まえ、中核市の判断で既存の紙の手帳から免許証と同等のプラスチック製のカードタイプへ変更できるようになった。本市が発行する障害者手帳もカード化への流れに対応すべきではないか。

A 県や政令市と時期を合わせて、カード型を選べるように準備を進めてまいりたい。



川本 伸 議員

### 西地区の磯焼け対策について

Q 新たな取り組みに挑戦している漁業者を支援するため、補助金を検討する必要性について。

A 漁業者と考えながら、積極的に支援していきたい。



茎だけとなったカジメ

### 居住支援事業について

Q 住宅の確保が難しい方のために「高齢者・障害者の住まい探し相談会」開催の周知が進むよう検討すべきではないか。

A 民生委員や関連部局と連携して取り組んでまいりたい。

### 8050問題について

Q 「8050問題」で、ひきこもりの対象者の方への訪問などの支援策も検討すべきではないか。

A 訪問にも取り組んで参りたい。

